

【音楽】パソコンなどで見たりきいたりできる人は、取り組んでみましょう。

＜勉強すること＞

◆音の高さに気をつけて、『春の小川』を歌いましょう。（教科書10～11ページ）

(1) 11ページの歌詞を声に出して読んで、春の様子を思いうかべましょう。

(2) 思いうかべた春の様子を想像しながら、『春の小川』を聴いたり、口ずさんだりしましょう。



(3) 『春の小川』を何度も聴いたり、口ずさんだりして、この曲がどんな感じの曲かを言葉や文章で表してみましょう。

※例：にぎやかで、楽しい感じ はなやかで明るい感じ など

(4) 10ページの楽譜を見ながら、音の高さに気を付けて、階名唱で歌いましょう。

※階名唱は歌詞ではなく、ドレミで歌うことです。

(5) 音の高さに合わせて、手を上下させながら、階名唱で歌いましょう。動画に合わせて、まねしてみましょう。



(6) いろいろな歌声で歌ってみて、この曲の感じにぴったりの歌声を考えましょう。

※いろいろな歌声の例：元気で明るい歌声
やさしく、きれいな歌声
自分の一番元気な歌声 など

＜保護者による関わり方のポイント＞ ※可能な範囲でお願いします。

- ・『春の小川』は、いろいろな花が咲き始める今の時期にぴったりの曲です。春の様子を思い浮かべる時には、家の周りにある身近な春の様子を一緒に探してみてください。
- ・『春の小川』は、音の高さに気を付けて歌うことを大切にしています。手を上下させながら歌うと、旋律の上がり下がりを一層意識して歌えるようになります。ぜひ、動画を参考にして、一緒に歌ってみてください。
- ・いろいろな歌声を試す時は、少しおおげさに表現し、お子さんと一緒に楽しみながら、『春の小川』にぴったりの歌声を探してみてください。